

製品名: ACTR-IIA ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06564**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	ACVR2A
別名	ACVR2A; ACVR2; Activin receptor type-2A; Activin receptor type IIA; ACTR-IIA; ACTRIIA
遺伝子 ID	92.0
SwissProt ID	P27037
免疫原	抗血清はヒト ACTR-IIA 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

背景

この遺伝子は、多様な生物学的プロセスに関与する形質転換成長因子 β (TGF- β) スーパーファミリーのメンバーであるアクチビンの機能を媒介する受容体をコードしています。コードされているタンパク質は膜貫通型セリン-スレオニンキナーゼ受容体であり、細胞

特異的にI型およびII型受容体とリガンドの様々な組み合わせとヘテロ二量体複合体を形成することでシグナル伝達を媒介します。コードされているII型受容体は主にリガンド結合に関与しており、細胞外リガンド結合ドメイン、膜貫通ドメイン、および細胞質セリン-スレオニンキナーゼドメインを含んでいます。この遺伝子は、妊娠関連疾患で母体および胎児の罹患率や死亡率につながる可能性のある子癆前症の感受性に関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、この遺伝子には複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq提供、2013年6月]触媒活性: ATP + [受容体タンパク質] = ADP + [受容体タンパク質]リン酸補因子: マグネシウムまたはマンガン,機能: リガンド結合により、2つのII型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼと2つのI型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼからなる受容体複合体を形成する。II型受容体はI型受容体をリン酸化して活性化し、I型受容体は自己リン酸化した後、SMAD転写調節因子に結合して活性化する。アクチビンA、アクチビンB、インヒビンAの受容体である。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。TKL Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。TGFβ受容体サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット: AIP1と相互作用する。AIP1、ACVR2A、ACVR1B、SMAD3からなる複合体の一部である。

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;TGF-β;

画像データ

